



小麦作付の団地化を支援

国際的な小麦の供給懸念による価格高騰を踏まえ、国産小麦の生産拡大・安定供給体制強化のため、小麦の作付けの団地化を支援します。

■ 事業名

経営安定・自給力向上事業

■ 目的

北米産小麦の不作など外国産小麦の国内供給が不安定になっている中、道路や水路等で隣接するまとまりのあるほ場を団地化して国産小麦の生産性の向上や作付面積の拡大を図るため、県を通して交付される国の補助金を活用し、小麦作付けの団地化に向けた取り組みを行う農業者に対し、機械、営農技術の導入に係る費用を補助します。

■ 補正予算の概要

(1) 補助要件等

- ほ場を4ha以上の一団とすること。
- 令和5年度から令和7年度までの3年度間の成果目標(作付面積拡大等)を設定し、団地化や生産拡大を行うこと。

(2) 補助金の額

- 機械の導入(補助率1/2)
現在使用している小麦の播種機(はしゅき)を1台増設
 $2,643,000 \text{円(税抜き)} \times 1/2 \approx 1,321 \text{千円}$
- 営農技術の導入(50,000円/ha(定額))
適正な施肥を行い生産性の向上を図るため、作付けするほ場において土壌診断を実施
 $7.9 \text{ha} \times 50,000 \text{円/ha} = 395 \text{千円}$

■ 補正予算額 1,716千円【県支出金あり】

〔財源内訳〕 県：1,716千円 国産小麦産地生産性向上事業補助金